

平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

学校法人 東京成徳学園

平成 23 年度事業報告書

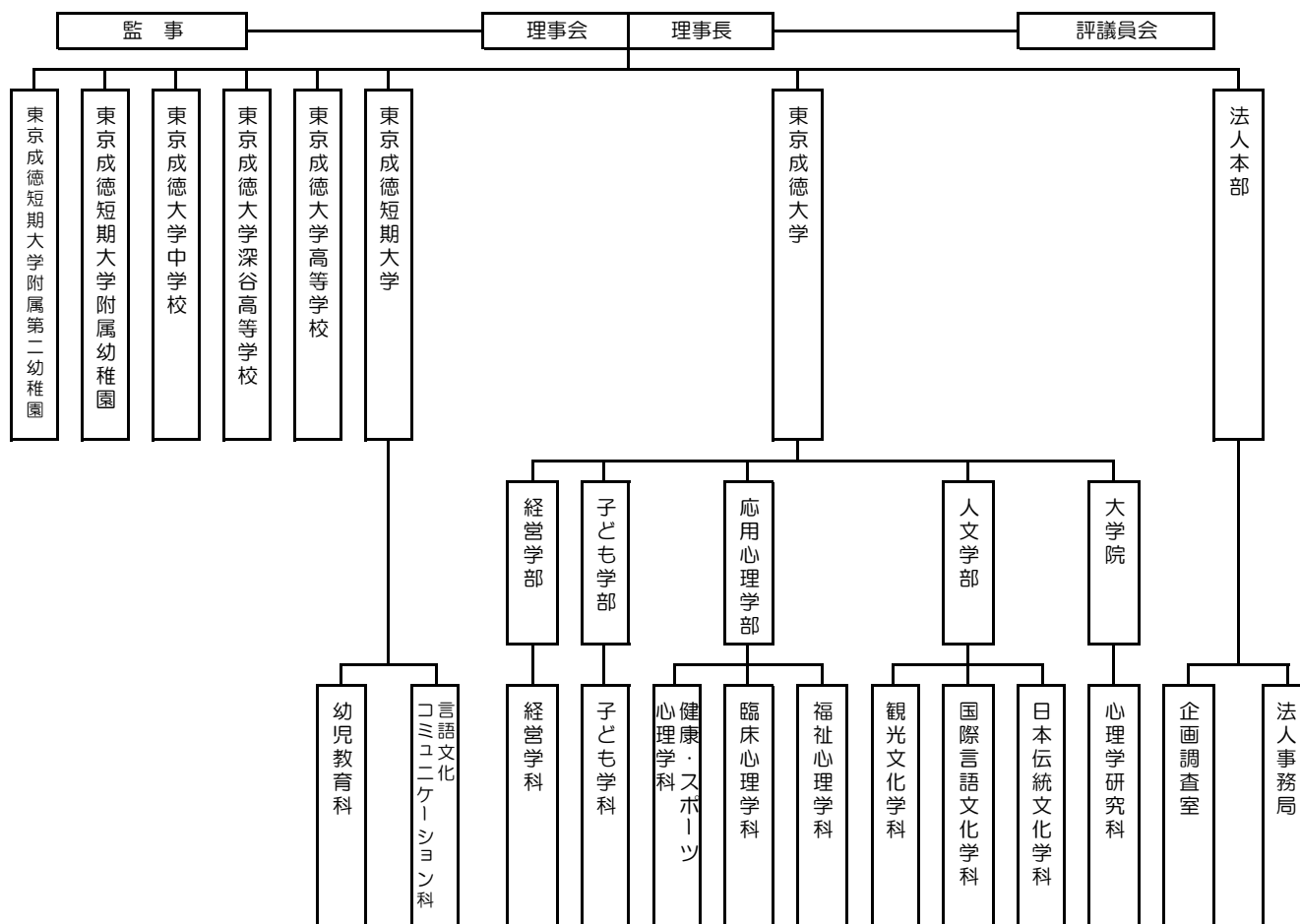
目次

I. 法人の概要	
1. 学園組織	2
2. 理事・監事・評議員	2
3. 学園の沿革	3
4. 設置する学校・学部・学科等	4
II. 平成 23 年度事業の概要	
1. 法人	5
2. 高等教育部門	6-7
3. 中等教育部門	8
4. 幼児教育部門	9
III. 平成 23 年度財務の概要	
1. 帰属収入・消費支出	10
2. 貸借対照表	10
3. 平成 23 年度計算書類	10

I. 法人の概要

1. 学園組織

平成24年3月31日現在



2. 理事・監事・評議員

平成24年3月31日現在

役職	氏名	現職
理事長・評議員	木内 秀俊	大学学長、短期大学学長
副理事長・評議員	木内 秀樹	中学・高等学校長、幼稚園長
理事・評議員	大谷 幸男	深谷高等学校長
理事・評議員	黒田 定男	大学八千代事務局長
理事・評議員	海保 博之	大学副学長、応用心理学部長
理事・評議員	竹内 利行	群馬大学副学長
理事・評議員	中里 明彦	成蹊大学名誉教授
理事・評議員	青柳 晴久	赤城印刷株式会社代表取締役
監事	大澤 健	前深谷高等学校長
監事	黒崎 康夫	株式会社黒崎インターナショナル代表取締役
評議員	福本 俊	短期大学幼児教育科長
評議員	加々美 健一	第二幼稚園長
評議員	永井 聖二	大学子ども学部長
評議員	渡部 賢	大学十条台事務局長、短期大学事務局長
評議員	石山 賢	法人事務局長
評議員	三上 令子	中学・高等学校同窓会長
評議員	遠藤 洋子	短期大学同窓会長
評議員	岡田 康司	大学経営学部長
評議員	新井 邦二郎	大学院研究科長、大学臨床心理学科長
評議員	津島 泰雄	歯科医師

3. 学園の沿革

- 大正 15 年 王子高等女学校（4 年制）を設立
- 昭和 6 年 東京成徳高等女学校に改称
- 昭和 22 年 学制改革により東京成徳中学校（現東京成徳大学中学校）開学
- 昭和 23 年 学制改革により東京成徳高等学校（現東京成徳大学高等学校）開学
- 昭和 28 年 東京成徳幼稚園（現東京成徳短期大学附属幼稚園）開園
- 昭和 38 年 東京成徳学園深谷高等学校（現東京成徳大学深谷高等学校）開学
- 昭和 40 年 東京成徳短期大学（文科）開学
- 昭和 41 年 東京成徳短期大学に幼児教育科を設置
- 昭和 51 年 東京成徳短期大学附属第二幼稚園開園
- 平成 5 年 東京成徳大学（人文学部）開学
- 平成 10 年 東京成徳大学大学院開設
- 平成 13 年 東京成徳短期大学にビジネス心理科を設置
- 平成 16 年 東京成徳大学に子ども学部を設置
- 平成 17 年 学校法人東京成徳学園創立 80 周年
- 平成 20 年 東京成徳大学に応用心理学部を設置
- 平成 21 年 東京成徳大学に経営学部を設置
東京成徳大学応用心理学部に健康・スポーツ心理学科を設置
- 平成 22 年 東京成徳大学人文学部に観光文化学科を設置
東京成徳短期大学ビジネス心理科を廃止

4. 設置する学校・学部・学科等

平成23年5月1日現在

学校法人 東京成徳学園	事務所の所在地		東京都北区豊島8丁目26番9号			
学校名	学部・学科・課程名		開設年度	収容定員	在籍者数	専任教職員数
東京成徳大学 大学院 東京都北区王子3-23-2 人文学部・応用心理学部 千葉県八千代市保品字中台谷2014 子ども学部・経営学部 東京都北区十条台1-7-13	心理学研究科	博士後期課程	平成15	9	4	137
		臨床心理学専攻	修士課程	平成10	36	
	人文学部	日本伝統文化学科	平成13	208	126	
		国際言語文化学科	平成13	272	108	
		観光文化学科	平成22	140	34	
	応用心理学部	福祉心理学科	平成20	228	133	
		臨床心理学科	平成20	288	321	
		健康・スポーツ心理学科	平成21	154	161	
子ども学部	子ども学科	平成16	380	405		
経営学部	経営学科	平成21	310	246		
東京成徳短期大学 東京都北区十条台1-7-13	言語文化コミュニケーション科		昭和40	170	68	39
	幼児教育科		昭和41	360	386	
東京成徳大学高等学校 一貫部 東京都北区豊島8-26-9 高等部 東京都北区王子6-7-14	全日制課程	普通科	昭和23	1,680	1,589	98
東京成徳大学深谷高等学校 埼玉県深谷市宿根559	全日制課程	普通科	昭和38	1,050	960	55
東京成徳大学中学校 東京都北区豊島8-26-9			昭和22	480	501	22
東京成徳短期大学附属幼稚園 東京都北区豊島8-24-2			昭和28	640	355	26
東京成徳短期大学附属第二幼稚園 埼玉県さいたま市中央区上落合1-9-4			昭和51	175	151	11

II. 平成23年度事業の概要

1. 法人

- 中期事業計画

平成23年度における「平成21～25年度 中期事業計画」の検証・評価に基づき、平成24年度における子ども学部拡充（小学校教員養成課程設置及び入学定員50名増員）など、当初計画策定以降に企画立案された事業を含めた中期事業計画の見直しを行い、平成23年9月24日の理事会・評議員会で承認されました。

- 省エネルギー対策

夏季に、十条台、中高一貫部、高等部の各施設に電力大口需要家に対する前年ピーク時比15%削減の電力使用制限が課せられたこと、及び省エネ推進（使用エネルギーの毎年1%削減）の観点から、学園全体として省エネ・節電に取り組み、7～9月の電力使用量は前年比25%の削減を達成しました。

- 情報公開の促進及びホームページの充実

「学校法人東京成徳学園インターネットによる情報公表規程」を制定し、インターネットによる公表を要請される情報の多様化に対応した規定の整備を行いました。

- 社会との交流促進

東京都23区内の企業との交流を図るため、平成24年度より学校法人として東京商工会議所の団体会員となることとし、所要の手続きを進めました。また、現在北区より賃借中の旧清至中学校は、北区防災計画上の「避難所」であることから、平成24年4月より「避難所の開設等に関する協定書」を北区と締結することとしました。

- 広報活動

平成23年度には、学園広報誌『東京成徳広報』（30号、31号）を発行（2万6千部）して、大学・短期大学卒業生の就職先を含めて配布しました。

2. 高等教育部門（大学院、大学、短期大学）

平成24年度 高等教育部門学生募集状況

学部等	学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数 (内留学生)
大学院	心理学研究科 修士課程	18	78	27	19
	心理学研究科 博士後期課程	3	2	2	2
人文学部	日本伝統文化学科	40	54	53	27
	国際言語文化学科	40	56	54	37
	観光文化学科	70	27	27	14(3)
応用心理学部	福祉心理学科	50	40	36	25(1)
	臨床心理学科	70	155	136	80(4)
	健康・スポーツ心理学科	50	105	69	63
子ども学部	子ども学科	140	433	213	144
経営学部	経営学科	100	169	162	97
大学計		581	1,119	779	508(8)
短期大学	幼児教育科	180	265	202	196
合計		761	1,384	981	704(8)

各学校の事業実施状況は以下の通りです。

- 東日本大震災への対応
被災した学生17名(大学13名、短大4名)の授業料等を減免し、学修の支援を行ったほか、被害を受けた八千代キャンパス校舎及び設備等の補修を行いました。
- 学生募集の対策強化
ホームページをはじめ、オープンキャンパス・進路説明会・高校への出張講義等を行って受験生への勧奨を行ったほか、東京・埼玉・千葉の高校を中心に学校訪問等を行うとともに、地域高校の管理職クラス50余名を集めた講話会等を開催して受験生の確保に努めました。
- 子ども学部の課程認定及び定員増の準備
子ども学部の入学定員を50名増員し、小学校教諭一種免許課程の設置申請を行い、学生募集を開始しました。
- 教育の質を高めるFD・SD・授業評価の推進
八千代キャンパス、経営学部、短期大学では全教員の授業を対象に学生による授業評価を実施しました。職員SD活動として、八千代キャンパスでは毎月「SD発表会」を実施し、十条台キャンパスでは「SD委員会」を中心にして、業務改善の取り組みを行いました。また、大学運営委員会において各キャンパスの取り組み状況の情報交換を行いました。
- 大学の知名度向上のための広報諸施策の推進
観光文化学科では、「千葉、観光の魅力 高校生フォトコンテスト」を企画・催行し、これに高校生から63点の応募があり、「観光千葉」への関心を高めました。また、臨床心理学科の留学生2名が、千葉キワニスクラブの表彰を受け、国際親善賞を受賞しました。
子ども学部では、高校生・在学生を対象に「手作り絵本コンクール」を企画・実施し、

25 点の応募がありました。

- 「TSU 就活力パワーアッププログラム」の継続実施
主に 3・4 年生を対象に、「マイ☆キャリ講座」「パワーアップ特別講座」「企業セミナー」などを実施し、就職率の向上に向けた学生支援に取り組みました。
- 海外協定校との学生交流プログラム及び海外研修の実施
韓国・白石大学校及び梨花女子大学校に交換留学生 2 名を派遣しました。
子ども学部では、3 年生 60 名の米国サンフランシスコ州立大学訪問研修を実施しました。
短期大学では、25 名のイギリス研修旅行（短大 16 名、大学 9 名）を実施しました。
- 自治体等が主催する諸行事への学生ボランティア派遣
八千代市が主宰する「おにいさん・おねえさん子ども電話相談」事業、「新川プレーパーク」事業、「フリーパレット」事業などに、ボランティア学生 118 名の派遣を行いました。
- 八千代キャンパス情報機器の更新
昨年度からの継続事業として、大学院の学生用パソコン、八千代キャンパスの通信サーバー、学内無線 LAN 通信機器などを更新しました。
- 市民向け公開講座の開催
八千代キャンパスでは、9～11 月に「こころとからだ」「くらしと文化」を統一テーマとする一般講座を 7 講座、「TSU オープンカレッジ（春期・秋期）」を 13 講座開講し、計 607 名の聴講がありました。
子ども学部では、北区教育委員会の後援を得て公開講座「本当に子どもは変わったのかー成熟社会の子どもと教育ー」を 12 月に開講し、99 名の出席がありました。
短期大学では、保育研修会「今こそ夢を語ろうー今後の保育現場はどう変わっていくのかー」を 11 月に開講し、66 名の出席がありました。
- 教員免許状更新講習の実施
本学の教員 16 名が「特別支援」「ホームルーム」「幼児教育についての最新事情」「子どもの身体表現」など 8 講習を担当し、教員 180 名の受講がありました。
- 科学研究費補助金、企業助成等への積極的な応募と研究・事業の実施
人文学部及び応用心理学部では、科学研究費補助金の採択を受けて 12 件（7,436 千円）の研究事業を実施しました。
子ども学部では、科学研究費補助金による 3 件（4,598 千円）の研究を実施しました。
経営学部では、科学研究費補助金による 3 件（3,770 千円）の研究、学術振興資金による 1 件（4,000 千円）の研究を実施しました。また、奨学寄附金による 2 件（774 千円）の調査研究、及び、東京都北区の委託により「北区商店街にぎわい再生プロジェクト推進事業」による商圈調査（2,000 千円）を実施しました。
短期大学では、科学研究費補助金による 3 件（1,246 千円）の研究を実施しました。
- 学事日程の見直し検討
八千代市と北区十条に離れて位置する 4 学部の諸行事などを連携して行うための検討を行いました。その結果、入学式の合同実施、大学祭への学生の相互参加ができました。
- 国・地方自治体審議会等への人材派遣
文部科学省・八千代市等の審議会を中心に、15 機関に 23 人の委員を派遣しました。

3. 中等教育部門（中学・高等学校、深谷高等学校）

平成24年度 中等教育部門生徒募集状況

	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
高等学校	560	1,184	1,056	610
深谷高等学校	350	1,420	1,391	301
中学校	160	922	388	161
合計	1,070	3,526	2,835	1,072

各学校の事業実施状況は以下の通りです。

(1) 高等学校

- 施設設備の整備
高等部第5体育館の改築を実施しました。（耐震化のため）
- 男子生徒確保のため部活動への支援
課外活動充実のため活動場所確保、コーチ招聘などの支援を実施しました。
- 進学指導の強化
学力向上と進路の実現のため、外部講師を効率的に運用して演習・補修等を実施しました。
- 生徒募集計画
高等学校では前年の定員割れをうけて、募集定員確保に向け一層の努力をした結果、定員確保と学力レベルの向上を実現できました。

(2) 深谷高等学校

- 施設設備の整備
スクールバス1台買い替え、一部教室の空調機買い替え、女子職員用トイレの改修を実施しました。
- 募集対策
ていねいできめ細やかな中学校・塾訪問を実施し、また、中学生が参加したくなるオープンスクールを企画・実施しました。
- 進路支援
夏季・冬季の休業を利用した予備校の先生（河合塾、代ゼミ）による補習授業を実施し、また、サテライト・河合塾eラーニングによる個別学習の徹底を図りました。
- 部活動支援
パワーリフティング部の石原悠貴君がカナダ国で行われた世界サブジュニアパワーリフティング選手権に出場し、6位入賞を果たしました。

(3) 中学校

- 部活動への支援
課外活動充実のため、活動場所確保・コーチ招聘などの支援を実施しました。
- 学力向上への取組
学力向上のため、授業改善や補修を実施しました。
- 生徒募集
景気の低迷が長引く中、中学受験生の減少が指摘されていましたが、本校では順調に生徒募集ができ定員を超える生徒が入学しました。（161名）

4. 幼児教育部門（附属幼稚園、附属第二幼稚園）

平成24年度 幼児教育部門園児募集状況

	附属幼稚園		附属第二幼稚園	
	募集人員	入園児数	募集人員	入園児数
3歳児	100	103	55	44
4歳児	若干名	6	若干名	3
5歳児	若干名	1	若干名	2

各園の事業実施状況は以下の通りです。

(1) 附属幼稚園

- 園児募集
入園説明会（2回）、保育見学会（7回）を通じて本園教育への理解に努め、園児募集を順調に実施することができました。
- 教職員の資質向上、指導力向上
教職員の資質向上、指導力向上を図るため研修会などを実施しました。
- 保護者に対する子育て支援
保護者に対する子育て支援の一環として、月例で講師を招いて母親講座を実施し、子育ての相談にも対応しました。

(2) 附属第二幼稚園

- 教職員の資質向上、指導力向上
園内、園外での研修を実施するとともに、大学への研究協力などを行いました。
- 近隣小学校との連携
教職員同士や子ども同士の交流を行うことにより、近隣小学校との連携を図りました。
- 保護者への子育て支援
外部講師を招聘し、子育てセミナーを年2回実施しました。
- 英会話活動の導入
「ちびっこ英会話」として外国人講師による英会話活動を取り入れました。

Ⅲ. 平成23年度財務の概要

1. 帰属収入・消費支出

平成23年度の帰属収入は6,120百万円となり、対前年度比159百万円の増加となりました。項目別に見ると、学生生徒納付金・補助金・手数料・寄付金の合計金額は5,918百万円で、対前年度比207百万円の増加となりましたが、資産運用収入・その他の金額は202百万円で、対前年度比48百万円の減少となりました。

平成23年度の消費支出は5,924百万円で、対前年度比609百万円の減少となりました。その結果、帰属収支差額は196百万円、対前年度比768百万円の増加となりました。

2. 貸借対照表

平成24年3月末の資産の部合計金額は47,035百万円で、減価償却による学園施設設備(有形固定資産)の減少などに伴い、対前年度末比83百万円の減少となりました。資産項目の内訳は別紙の通りです。

負債の部合計金額は2,059百万円で、借入金返済などにより対前期末比279百万円の減少となりました。

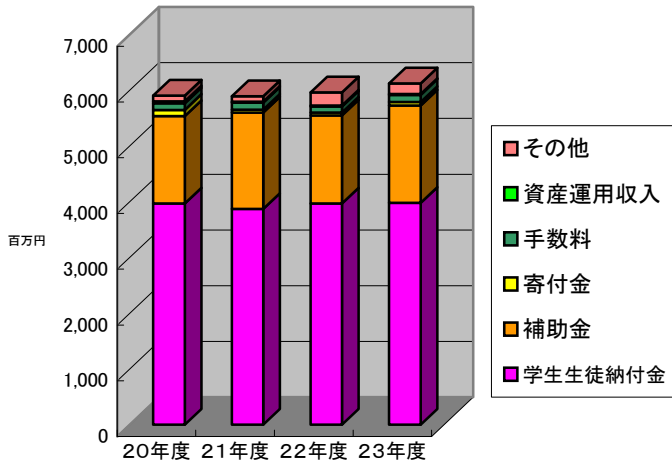
基本金の部合計金額は、施設設備支出や土地取得目的の借入金の返済による基本金組み入れに伴って661百万円増加し、平成24年3月末で53,748百万円となりました。

その結果、正味資産は196百万円増加し、44,976百万円となりました。

3. 平成23年度計算書類

平成23年度の収支計算書、貸借対照表、監査報告書、財産目録は、別葉の平成23年度計算書類をご参照下さい。

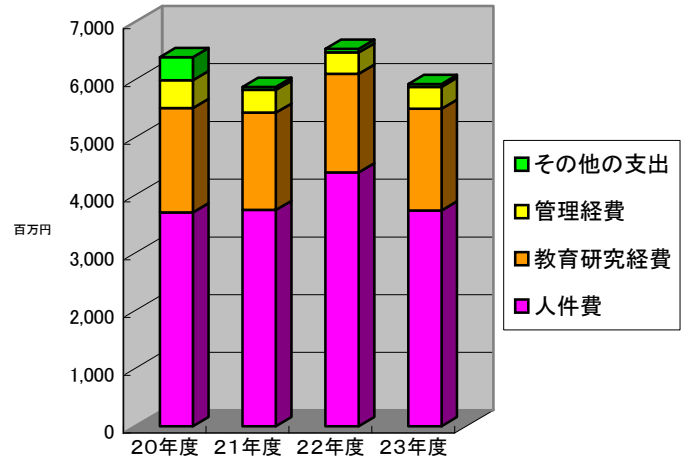
項目別所属収入推移



(単位:百万円)

	20年度	21年度	22年度	23年度
学生生徒納付金	3,968	3,870	3,969	3,982
補助金	1,569	1,730	1,580	1,745
寄付金	111	51	49	63
手数料	120	125	113	128
資産運用収入	31	18	16	13
その他	103	96	234	189
合 計	5,902	5,890	5,961	6,120

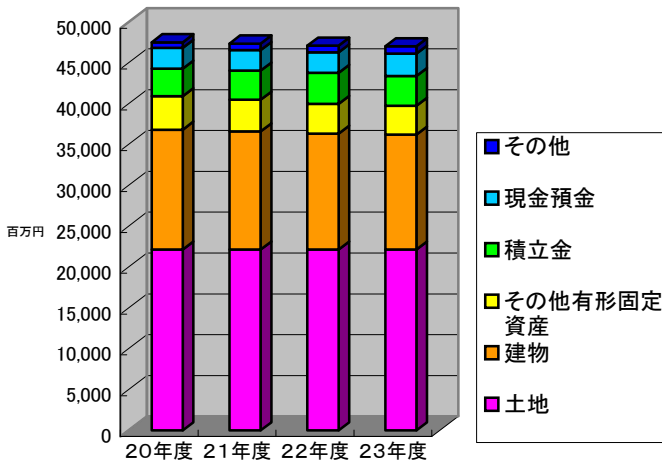
項目別消費支出推移



(単位:百万円)

	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費	3,701	3,745	4,395	3,734
教育研究経費	1,808	1,684	1,706	1,760
管理経費	482	392	368	380
その他の支出	398	54	64	50
合 計	6,389	5,875	6,533	5,924

項目別資産状況



(単位:百万円)

	20年度	21年度	22年度	23年度
土地	22,165	22,165	22,165	22,165
建物	14,672	14,462	14,178	14,051
その他有形固定資産	4,100	3,866	3,655	3,529
積立金	3,357	3,590	3,808	3,657
現金預金	2,573	2,487	2,486	2,731
その他	668	813	827	902
合 計	47,535	47,383	47,119	47,035